

広島大学法科大学院

資 質 確 認

2019年8月24日（土）

11:30～12:10

注 意 事 項

- 1 これは資質確認の問題冊子です。ページ数は、表紙を除いて1ページです。
- 2 解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に**横書き**で書いてください。**罫線外および裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。**
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子および下書用紙は持ち帰ってください。

【問題】（50点）

あるプロサッカー大会で、チームAは予選リーグの最終戦を迎えていた。その大会では予選リーグの上位2チームが決勝トーナメントに進出できる。チームBとの最終戦でチームAが勝利ないし引き分けた場合、その他の条件にかかわらずチームAは最終戦終了後に2位となる。また、チームAがチームBに負けた場合でも、1点差で負けた場合（たとえば、チームA対チームBのスコアが0-1、1-2）であればチームAは2位となる状況であった。

チームBとの最終戦で、試合開始早々、チームAは失点し0-1となった。失点后、予選リーグの突破を確実にするために、チームAの監督は攻めることによるさらなる失点リスクをおそれて、選手に対して、この試合は負けてもよいのでこのまま1点差を維持するよう指示し、選手もそれに従い積極的に攻撃することを完全にやめた。これに対して、チームBも、すでに予選リーグの1位通過が決まっていたため、けがの回避などを理由にチームAに対して積極的に攻撃をしなかった。多くの観客からは激しいブーイングが浴びせられつつも、チームAはこのような消極的な試合運びを意図的に続け、試合は0-1のままチームAは敗北した。チームAは予選リーグの最終戦は敗北したものの、決勝トーナメント進出を決めた。

チームAの消極的な試合運びについて、賛成の立場、反対の立場を比較検討した上で、自分の見解を述べなさい。